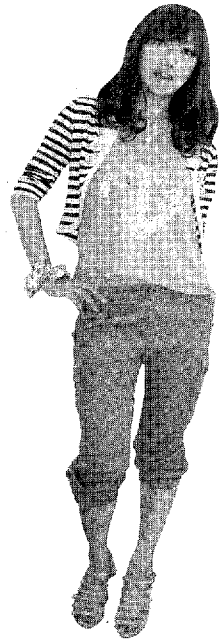
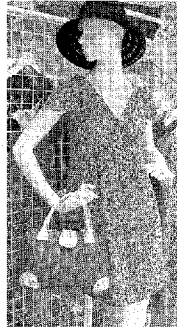


専門店/レディス

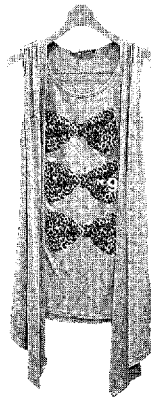
6月



フリーズマート 自由が丘店



カットソーを買い足し



ローズパッド 新宿店



④(上) 協業Tシャツが完売するなど、カットソートップ人気を引っ張った「ハリウッドメイド」。レパード柄リボンをプリントした変形タンクトップ7245円

⑤(下) エスニック柄使いが甘くなりすぎないスタイルを好む客に人気のバックパック「メイ×ローズパッド」8190円

⑥マキシワンピース合わせでイチ押しベースリ柄カーディガン9030円、白のマキシワンピース11550円、ともに「ローズパッド」。動き始めたサボ「ジェフェリーキャンベル×ローズパッド」2万790円

売場観測

(価格は税込み)

大人っぽいリゾートスタイルに加えて、マリンやミリタリーテイストを基調にした、きれいめのパンツスタイルが浮上してきた。手持ちのワンピースやコンビネゾンに買い足して使えるカットソーも動いている。

パンツはチノやカーゴが中心で、クロップト丈やサルエル風のゆるいシルエットが良い。今月から打ち出す店や、夏の動きによっては秋以降に仕掛けるところもあり、しばらく注目のアイテムになりそう。

カットソーはショート丈やドルマンスリーブ、プリント物のTシャツや、ストール風やロング丈のカーディガンなど。「安価な物の2枚買いが目立った」「例年よりシンプルな無地系の動きが良く、特に大人客はストールやネックレスで変化をつけている」「Tシャツはボーダーのタンクトップとセットで買うケースが多い」といった声が聞かれる。

ワンピースやコンビネゾンは花柄をはじめかなり動きが落ちてきたが、「ひざ上丈のきれいめが売れるようになってきた」「無地サテンのコンビネゾンは購入には至っていないものの試着する人が多い」のは気になるところ。

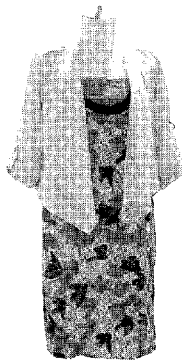
小物はアビエータータイプのアングレットパンプスやサンダル、サボなど靴を挙げるところが多くなっている。

きれいめパンツスタイル

④連休以降売れ筋1位に浮上したクロップトパンツ5985円、カットソーのナポリ風マリンジャケット4515円、カットソートップ2940円、すべて「フリーズマート」

⑤(上) マキシ丈ワンピースをすでに持っている客がコーディネート用に買って行くクロップトTシャツ「フリーズマート」2940円

⑥(下) ワンピースはマキシ丈からひざ上丈に売れ筋が変化。ワンピース6615円、かごバッグ4935円、ともに「フリーズマート」

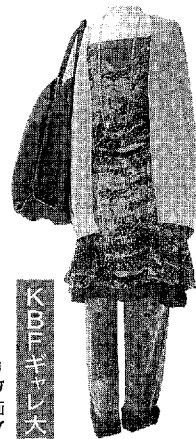


テコラシオン プールブルー



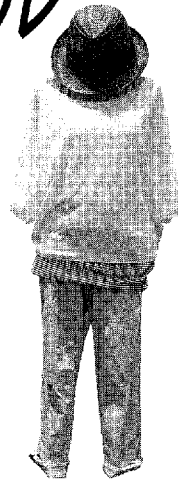
⑦ミリタリーテイストが全盛。レーヨン・リネン混のレースフロントのジャケット「スリック」2万790円、ワンピース「クロックス」3万4850円

⑧ミリタリーテイストのクロップトパンツ「フェイスフル・ファナティック」1万2390円、カプリ型のスキッパーブラウス「ゲー・コミュニケーション」8925円



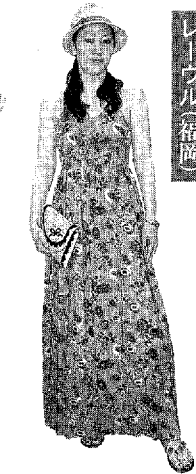
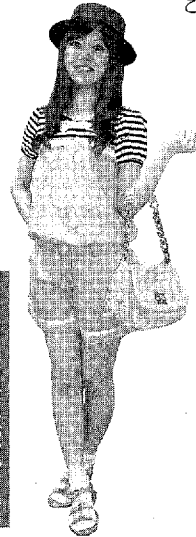
KBF キーレ 大阪店

ブランシュール心斎橋オーハ店



先月から動きの良いドルマンスリーブTシャツ5145円、ボーダータンクトップ4095円、販売を強めるサルエル風チノパンツ1万1550円、すべて「ブランシュール」

フロント名百貨バルコ店



レールブル 福岡

可愛らしくこなしたマリンテイストが人気。パワーショルダーのセーラー襟ボーダーTシャツ3990円、ダンガリーのサロペットタイプのキュロット7140円、リボン付きサンダル5040円、すべて「ペイビー&ペイビー」

ライトブルーにオレンジや白の花柄がさわやかなホルターネックのマキシワンピース「バイラファイン」1万3000円、クラッチバッグ「フィリックスレイ」8400円、カラフルビジュアール付きラバービーチサンダル「フリーフィッシュ」4095円

ローズパッド新宿店 手持ちのマキシワンピースに合わせられる薄手の羽織り物を探している客が多いので、飽きぎたタンガリーシャツに代わるカーディガンやガウンなどを勧めたい。中でもベーズリー柄使いなど、エスニック調のものがイチ押し。人気ブランド「モーター」で入荷するレトロプリントの布帛ワンピースも打ち出す予定。小物は動き始めたサボに期待している。

フリーズマート自由が丘店 引き続きパンツのスタイルを押ししており、ゆったりとしたシルエットのブラウスや軽い羽織り物とのコーディネートが主力だ。ワンピースはマキシ丈ではなくひざ上丈に注目。春先から売れていたカジュアルなリゾートテイストは、ここに来て少し落ち着いたと見ている。月末からのセール期に向けては、セーリング品と並べられる廉価なセット品を手

配している。

◇
デコレーション・プール・ヴー ミリタリーテイストの人氣が先月からさらに、じわじわとペースを上げてきた。ライダーズディテールのジャケットやカーキのクロップトパンツがヒット。レーヨンやリネンなどソフトでリゾート感のある素材を使って、マンリッシュさを抑えたミリタリーデザインがポイントだ。ワンピースからパンツルックへのソフトにもつながっている。リネン、レーヨン、キュプラ生地を組み合わせたスモーキーグレーのワンピースなど、シックなカラーにリゾート素材のデザインを勧める。

◇
フィント名古屋パルコ店 ボーダーやアンカー柄といったマリントイストの商品を、ひねりを利かせて投入する。サマーニットのポロシャツやナボレオン調のTシャツなど。ボトムはサ

●今月のアピール

ルエルタイプ七分丈やフルレングスのパンツを増やし、ポケットにフリルやハートモチーフを付けたり、サスペンダーを加えたりする。また、昨年から始めた顧客向けのフォトコンテストを中旬まで開催。購入した服を着てきてもらい、全国で撮った写真からベストスタイリング賞を選ぶ。

◇
ブランシュール心斎橋オーバ店 2着買うと2割引、3着買うと3割引というセットフェアを15日間実施して、客単価アップに努める。販売を強めるのはチノパンツ。裾絞りタイプやワーク風のサルエルタイプなど3型を揃える。価格を抑えたシャツや花柄のタンクトップなどとコーディネートして、セット販売につなげる。

◇
KBFギャレ大阪店 全店に5月から投入しているトレンド性の強いライン「KBF+」の商品を主軸にする。目を引くプリントのトップを売り場に増やしたことが集客につながっている。ボーダー、エスニック、タイダイ風プリントのワンピースや、Tシャツを引き続き強化アイテムとする。ボトムもベーシックよりもデザイン物が人気。ケミカルウオッシュデニムと、シャープな形のサロペットやサルエルパンツを重点に据える。

◇
レーヴル(福岡) 主力は引き続きワンピース。今シーズンここまで甘いテイストが主流となっているため、大人でも着られる甘×辛テイストのマキシワンピースを前面に打ち出す。一方で結婚式向け需要については、モノトーンの落ち着いた感じのものから2次元向けに明るいデザインなど幅を持た

せる。6月は雨が多い上、気の早い客はシークレットセール待ちに入るため、Tシャツ、サンダルや帽子などを即決できる価格帯で充実させ、フリ客を手ぶらで帰さない体勢で臨む。

5月の結果

ようやくボリューム層が夏物を買い始めたものの、例年より気温が低く朝晩はまだ肌寒いことや、客単価が伸びないことが影響し、2ヶタ割れはじめ、苦戦した店が多かった。ただ、「連休前から細かく打ち出してきた顧客向けシークレットセールが奏功して前年超え」「初夏物を先買した上顧客層が色柄のきれいなインポート物の入荷に合わせて再度まとめ買いの動きを見せている」店もあった。